

絵本と子育て事業20周年を迎えて

この本よんだ?おぼえてる?

西東京市図書館では「絵本と子育て事業(ブックスタート)」を行っており、今年度事業開始20周年を迎えました。今年20歳を迎えたみなさんは、絵本と子育て事業として初めて絵本を手渡した、あの頃の赤ちゃんたち。そこで「二十歳のつどい」実行委員9名のみなさんに、当時のことをインタビューしました!ご協力いただき、本当にありがとうございました!!

岡本心奈さん(明保中学校出身)

まず、小さい頃はどんなお子さんでしたか?

(岡本さん) 体を動かすことが好きで、壁に落書きをしちゃうようなやんちゃな子でした。本を読むのも好きで、おばあちゃんが読み聞かせのボランティアをしていたこともあって、絵本はたくさん読み聞かせをしてもらっていました。

当時気に入っていた絵本や印象に残っている絵本はありますか?

(岡本さん) 一番よく覚えているのは『めっきらもっきらどおんどん』です。本当に大好きで、何度も読んでもらいました。文字もまだ読めていなかったのに、おはなしを暗記していて、次のページを読んでもらう前に、自分で音読していました。一人暮らしを始めた今でも、大切にしています。



『めっきらもっきらどおんどん』
長谷川摂子/さく、ふりやなな/え
福音館書店

本当に本が大好きなお子さんだったんですね。ちなみに、西東京市図書館では、岡本さんが生まれた年に始まったこの絵本と子育て事業で『いないいないばあ』と『くだもの』をプレゼントしたのですが、小さい頃読んでもらったことはありますか?

(岡本さん) 『いないいないばあ』を読んでもらったことを覚えています。今もまだ持っています。母にたくさん読んでもらいました。

ところどころ破けていて、小さな頃の岡本さんのやんちゃさも感じられほっこりします。

図書館に来ることはありましたか?

(岡本さん) 小学校入学後、自由研究の時に利用していました。大学生になった今は本を読む機会が増えたので、下宿先近くの図書館で、小説のほかにスポーツ系の本もよく借りて読んでいます。

最近読んで面白かった本はありますか?

(岡本さん) 最近、小学生の頃好きだった『ハリー・ポッター』のシリーズを原書で読みなおしています。英語の表現を日本語ではこんなふうに訳すんだな、と表現の違いを見るのが面白いです。今4巻まで読み終わりました。

最後に、今頑張っていることや、その目標などがあれば、聞かせてください。

(岡本さん) ボート競技を頑張っています。高校から続けていて、これからもずっと続けていきたいと思っています。ボート競技は個人戦と団体戦があり、そのうちの団体戦で、自分がボートに乗って速くなるような、乗ってほしいと思われるような選手になりたいと思っています。2028年オリンピックのボート競技には新しい種目が追加されるので、選手として出場できるよう練習に励みたいです。

応援しています!! 本日は本当にありがとうございました。





絵本と子育て事業とは？

3～4カ月児のお子さんとその保護者へ、図書館司書が選んだ絵本と赤ちゃん向け絵本リスト「はじめまして～赤ちゃんにおくるえほん30冊～」をお渡ししたり、読み聞かせの実演を行ったりしています。

お渡しする絵本は年度ごとに様々で、今年度は『おつきさまこんばんは』『くだもの』（どちらも福音館書店）の2冊の中から選んでいただきました。

絵本のお受け取り方法など、事業の詳しい内容は図書館HPをご覧ください。



絵本と子育て事業について

聞いてみました

- ①絵本と子育て事業でもらった絵本（『いないいないばあ』『くだもの』）を覚えていますか？
- ②（①がなければ）子どもの頃の図書館や本との思い出はありますか？

そのほかにも、たくさんの質問に答えていただきました。インタビューの回答全文は、図書館ホームページからご覧ください。



インタビュー全文

前北梨音さん（田無第一中学校出身）

①正直自分が幼い頃に読んだ記憶はありませんが、大きくなってから自分の妹やいとこに『いないいないばあ』を読み聞かせした記憶があります。様々な動物が隠れていて、何度もページをペラペラめくり、動物を隠したり登場させたりを繰り返していました。この絵本がきっかけとなり私が自分で妹やいとこに、いないいないばあを实际にした思い出があります。



長岡帆風さん（田無第二中学校出身）

①随分と昔のことなので記憶はあいまいですが、幼い頃にどちらの絵本も母が読み聞かせをしてくれた記憶があります。時には、「もっと感情をこめて」「もっとかわいい声で」など、読み方を注文して母を困らせていました。また、私自身が読み聞かせをしてあげることも好きだったので、幼かった弟に読んであげたことも覚えています。様々な思い出の残った絵本で、今でも家にあります。

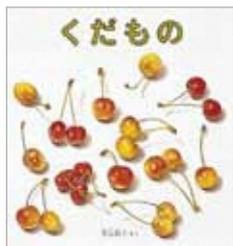


竹内双葉さん（田無第四中学校出身）

①『いないいないばあ』は家にありました。私が小さい頃に読んでいた記憶があるので、とても懐かしいです。妹に『いないいないばあ』の読み聞かせをした時に、妹が笑ってくれたことがすごく嬉しかったのを覚えています。



『いないいないばあ』
松谷みよ子／ぶん、瀬川康夫／え、童心社



『くだもの』
平山和子／さく、福音館書店

後藤恵留さん（柳沢中学校出身）

②幼稚園の帰りに親に柳沢図書館に連れて行ってもらうことができました。その当時は、たくさんの本に囲まれていることが幸せで、図書館に行くことを楽しみにしていました。特に児童コーナーで絵本を眺めたり本をパラパラめくってみたりすることが好きだったと記憶しています。小学校入学後は休みの期間に読む本を探すために訪れていました。



満員御礼！



自分史講座



日時：令和5年11月11日(土)・12月2日(土) 午後2時～4時
講師：小矢野 正夫氏 (小矢野キャリア研究所 代表)

参加者が持ってきた1枚の写真から思い出や当時の社会情勢を掘り起こし、ミニ自分史を作成してみる講座を開催しました。

図書館を活用して気軽に自分史を作ってもらうことを目的とした今回の企画。1日目の書き方講座のあと、参加者は図書館の新聞データベースを使って、自分の歴史と社会の歴史を重ね合わせながら、「自分だけ史」にとどまらない自分史の作成を進めていきました。

二日目の発表会では、一人ひとりが作品を朗読し、講師よりコメントをいただきました。

参加された方の感想(一部)



やりがいがありました。

自分史を書けるようになって有意義でした！

新聞記事を見て、改めてこの時はこんなことが話題になっていたんだと、振り返り、今の時代と比べることができました。自分を振り返るきっかけにもなり、今後活かしていきたいです。

図書館より

「終戦後の引き揚げ」「オイルショック」など、今となっては“歴史上”の出来事を体験した方々の自分史はどれも興味深いものでした。データベースに気軽に触れていただく機会にもなったと思います。



講座のくわしい様子や、使えるデータベースについて知りたい方はHPをどうぞ



講座



データベース

令和5年度図書館協議会報告

会議を6回、視察研修を1回開催しました。

令和4年度西東京市図書館事業評価の2次評価と、今年度策定していた図書館計画について図書館協議会としてご意見をいただきました。

視察研修は、令和5年7月に開館した多摩市立中央図書館に行き、施設の見学と共に詳しい説明を受けました。

令和4年度図書館事業評価 —図書館協議会による2次評価のコメントの一部—

- ☆児童書のノンフィクションの分野においても適切な収集を進めてください。
- ☆資料保存については今後、長期的な展望を立てられることを期待しています。
- ☆宅配サービスや高齢者施設への団体貸出に取り組んだことを評価します。
- ☆多文化理解のため多言語・多文化を意識して、幅広い世代を視野に入れたことは良かったです。
- ☆オンラインデータベースの講座・講習会を開催し、図書館情報資源の利用促進ができたことを評価します。
- ☆講演会・講座の実施に当たっては、地域に根差したテーマや講師の発掘を期待します。
- ☆YA世代へのサービス、3歳児フォロー事業、放課後子供教室などニーズに沿った地道な活動をより展開することを期待します。
- ☆市民や大学、行政の他機関と連携しながら事業を行うことは重要なポイントです。

🌸 おめでとう 🌸

前回の図書館だよりで紹介しました黒崎 空良さん(芝久保小6年)の作品が「第27回 図書館を使った調べる学習コンクール」全国コンクールにおいて「奨励賞」を受賞されました。おめでとうございます！

にんにん西東京



西東京市図書館キャラクター
西都右京くん

第38回 「西東京市の文化財②」 前編 小金井桜

文化財というと建物や仏像などを想像することが多いかもしれませんが、実は「文化」や「景色」も登録されています。西東京市には「国指定文化財名勝」として「小金井桜」があり、昔から多くの人を魅了してきました。その「名勝 小金井(サクラ)」について、二回に分けてお話します。

「国指定文化財名勝」として登録されている地域は、小平市から武蔵野市にかけての玉川上水両岸に植樹された桜並木、約六キロメートル。その間に西東京市新町五丁目、六丁目も含まれています。

詳しい年代は定かではありませんが、元文二(一七三七)年頃、現在の府中市の名主川崎平右衛門定孝が中心となり、享保の改革の一環で開墾された武蔵野新田の農民たちによりヤマザクラを植樹したことが「小金井桜」の始まりといわれています。

桜の葉や実は毒消しに効くとされていたため、玉川上水の水質保全や、根を張り堤を固める効果を期待され、老木の松や杉から植え替えられたと考えられています。そして同時に、花見ができる名所を作ることで見物客の人数を期待し、地域を活性化しようという

いわゆる「町おこし」の意味合いもあったようで、実用性と鑑賞用も兼ね備えた植樹でした。今も昔も、桜が心を和ませ人々の憩いの場と成り得ると考えられてきたが故の選択だったのでしょう。

江戸時代後期になると、今という観光ガイドブックなどでも「小金井桜」が取り上げられるようになり、桜の名所として多くの人に知られるようになりました。田無村の医師で

あり文人であった賀陽(かや) 済(わたり)も一枚刷りの地図に解説などを添えた『武



桜樹接種碑
(2022年8月撮影
写真提供：滝島俊氏)



桜樹接種碑拓本
(田無市史編纂資料より)

蔵野(くらの) 小金井(こがねい) 櫻順道(いざのり) 絵図(えず) を発行しています。江戸から詩歌や絵画を嗜む文人達も大勢訪れ、紀行文や錦絵などで当時の様子が数多く書き残されています。有名な歌川広重や葛飾北斎も「小金井桜」を題材とした作品を描いており「小金井桜」が江戸近郊随一の観光地であったことが伺い知れます。

しかし、植樹から約百年が経過した幕末期には、多くが老木となり枯れ木も増えてきました。そこで、上水堤の左岸の一部を管理していた、田無村名主下田半兵衛(しもだはんべゑ) 富宅(とみいえ)は、桜の苗木を植え「さくら折るべからず」と刻まれた石碑「桜樹接種碑」を建立し、現代に続く桜並木の景観維持に貢献しました。

まもなく桜の季節が到来しますが、今年のお花見はソメイヨシノではなく、江戸の人々に愛されたヤマザクラを楽しんでみてはいかがでしょうか。

次回後編では、明治時代以降の小金井桜についてご紹介いたします。

参考文献

- 『小金井の桜』(東京市編/1926.4)
- 『名勝小金井 桜絵巻(復刻版)』(小金井市教育委員会/2015.1)
- 『小金井市誌-歴史編-2』(小金井市誌編さん委員会編/1970.10)
- 『小金井市史-資料編 小金井桜-』(小金井市史誌編さん委員会編/2009.3)
- 『代官川崎平右衛門の事績』(渡辺紀彦著/1988)
- 『名勝小金井桜の今昔』(桜井信夫文/2002.1)
- 『武蔵野大学教職研究センター紀要 第2号 抜刷』(武蔵野大学教職研究センター紀要編集委員会 廣瀬裕之/2014.3)

図書館だより92号「にんにん西東京」第37回「西東京市の文化財①」の参考文献に誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。
[正]「保谷の昔と村人たち-東京保谷ロータリークラブ創立二十五周年記念誌-」

今村天也さん (田無第三中学校出身)

①私はよく、家にある絵本などを妹に読み聞かせしていたのですが、特に好んで読み聞かせしていたのが『くだもの』だったそうです。誕生日などに、この話を母から聞いていました。今回の図書館だよりの話を聞いた時、この絵本が図書館の児童サービスで頂いたものであることを知り驚きました。また、この取り組みは私の生まれた年が初回だったということで、普段図書館を利用する者として、幼い頃から図書館と深いつながりがあったことをうれしく思いました。



鈴木玲さん (保谷中学校出身)

②小学校低学年の頃、私は『マジック・ツリーハウス』というシリーズの本がとても好きでした。そこで、クリスマスに欲しいものとしてサンタクロースをお願いしたところ『マジック・ツリーハウス』が5、6冊枕元においてあり、嬉しかったので貰ってすぐ読み終えてしまいました。買えなかった分は図書館で座って読んでいたのを覚えています。また、子供の頃に読み進めた『ハリー・ポッター』シリーズは、今でも読み返すほどとてもお気に入りです。初めてあれほど長い本を読んだなあと思懐かしく思います。



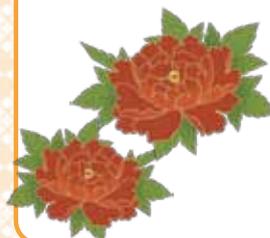
白城歩夢さん (青嵐中学校出身)

①『いないいないばあ』と『くだもの』の2冊は現在もまだ家の本棚にあります。『いないいないばあ』については幼稚園に通っていた頃に母から読み聞かせをしてもらった覚えがあり、個人的にはかなり思い出深い1冊です。『くだもの』は逆に自分が妹に読み聞かせをしていた本で、この本もまたたくさんの思い出がつまっています。幼少期に親から読み聞かせをもらったことがある本は、十数年経った今でも思いのほか覚えているものなんだなあとしみじみと思いました。



小藤那奈子さん (ひばりが丘中学校出身)

①まだ家にあったよなと思い探してきたのですが、だいぶボロボロになっていました。半分以上のページが外れないようにテープで留められているし、全てのページに折り目が付いていて元気いっぱい扱われた様子が見て取れます。この状態を見るに、よく覚えていませんが、赤ちゃんの頃はこの絵本を気に入っていたのではないかと思います。



絵本と子育て事業20周年記念事業ではほかにも…



「二十歳のつどい」で掲示したアンケートパネル

今回のインタビューの他にも、「二十歳のつどい」当日の会場で、絵本と子育て事業でもらった絵本を覚えているかアンケートを行いました。

また、子育て中のおうちでの読み聞かせについての講演会「もっと知りたい絵本の読み聞かせ～言葉と心を育む。絵本を共に読む本当の意味～」を開催し、多くの方にご参加いただきました。



講演会の様子



講師の内田早苗氏

小さなアーティスト



おはなばたけにうまれてきたはなちゃん

保谷第二小学校 1年

わたしと図書館の出会いは、わたしと本の出会いでもありました。荒れていた小学校に通っていた私は教室にいたくなかったこともあり、校長室でかくれんぼが好きな子供でした。その校長室に置いてあった本を校長先生が紹介してくれたのがわたしの最初の本「ハリー・ポッターと賢者の石」。言わずと知れたJ・K・ローリングさんのハリー・ポッターシリーズの第一巻です。その本を抱えて図書館にこもって、小学生が読むには分厚い本を何日もかけて読んだのが最初の本との出会い、図書館との出会いです。そこからはひたすら図書館に通ってはファンタジーを読み漁る毎日でした。年月を重ねてもそれは変わらず、自己紹介での鉄板ネタは「私の生息地は図書館です」。流行していたゲームになぞらえてのこのネタ、嘘でもなく時間ができたら大体図書館に行っただけで、会おうと思ったら図書館に行けば会え

たのは間違いなかったでしょう。

さて、せっかくの機会ですので、オススメの本を一冊紹介を。もちろん、わたしの最初の本「ハリー・ポッターと賢者の石」です。どんな人にオススメかと言えば、分厚い本をゆっくり時間をかけて読みたい人に。この本をオススメするポイントは、とにかく読み易さにあります。小学校の図書館にも置かれるぐらいの本で、読むのが難しい本はなあ、と思う人にもオススメできます。さらには映画化されてテレビ等でも放送されたこともあり、本は読んだことないけど映像でなら観たことあるよ、という人も多いのではないのでしょうか。そんな読むハードルが低いところも魅力のひとつです。それでいて映画では描かれなかった「え、実はそうだったの!？」という発見もあり、映画を観たことがある人も楽しめます。ゆっくりファンタジーを楽しみたい人、いかがでしょうか？

利用者エッセイ

わたしと
図書館

ペンネーム:サン